

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」
世界遺産一覧表への記載決定に当たっての
林 芳正 文部科学大臣談話

バーレーンのマナーマで開催されている第42回世界遺産委員会において、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が、人類全体の貴重な遺産として世界遺産一覧表に記載されることが決定されたことを大変喜ばしく思います。

当初の推薦がイコモスからの厳しい指摘を受けて取下げとなって以降、地元関係者の皆様方は「潜伏キリシタン」が独特の文化的伝統を育んだことを物語る資産として推薦書を作り直し、登録へ向けて粘り強く取組んでこられました。

今回、世界の人々に祝福されつつ見事に資産登録を実現された地元関係者のたゆまぬ御努力に心から敬意と祝意を表します。

文部科学省としては、地元の関係各位と連携しながら、人類の共通の宝である貴重な世界遺産の保護に万全を期し、後世に確実に引き継ぐとともに、その価値を積極的に発信してまいります。